

平成 23 年度

第206回 ホスピスケア市民講座

10月15日(土)
13:30 - 15:30

札幌市社会福祉
総合センター
4階・大研修室

札幌市中央区大通西 19 丁目 1 - 1
(地下鉄東西線「西 18 丁目」
1 番出口から徒歩 2 分)

一般: 600 円(前売 500 円)
会員・学生: 500 円
75 歳以上: 無料

前売りの申込みは 10 月 7 日まで
名前、住所、電話番号を書いて、下記へ

【主催】(申込み・問合せ)

NPO 法人
市民と共に創るホスピスケアの会

〒060-0061

札幌市中央区南 1 条西 16 丁目
1 - 245 レーベンビル 3F

TEL/FAX 011-615-6060

E-mail shimin-hospice@nifty.com

【後援】

北海道・札幌市

札幌市医師会

札幌市社会福祉協議会

札幌市教育委員会

北海道対がん協会

北海道新聞社

朝日新聞北海道支社

読売新聞北海道支社

平穩死のすすめ —看取りと向き合おう—

石飛 幸三氏

特別養護老人ホーム 芦花ホーム 医師



1935 年生まれ。1961 年、慶應義塾大学
医学部卒業。1970 年、ドイツのフェルディナント・
ザウアーブルック記念病院で血管外科医として約 2 年勤務。
1972 年より東京都済生会中央病院勤務。1993 年、同病院副院長。
2005 年より芦花ホームに勤務

【著書】

「平穩死」のすすめ

口から食べられなくなったらどうしますか

延命治療の限界、安らかな「看取り」を
考える。「特養」常勤配置医が初めて
提言。

石飛氏は「人生の幕の引き方を、日本
人はもっと正面から考えるべき」と言葉に
力を込める。

「死をタブー視せず語ることは、自身の
生きざまを見つめ直すことにつながる」
「人の幸せは、精いっぱい生きて、心安
らかに最期を迎えること」

207回市民講座のお知らせ 11月12日(土) かでる 2・7 1030 会議室

「グループセッション それぞれの^{いのち}生命を考える